

平成26年 1月～3月の工事事故の状況

北陸地方整備局発注の直轄工事

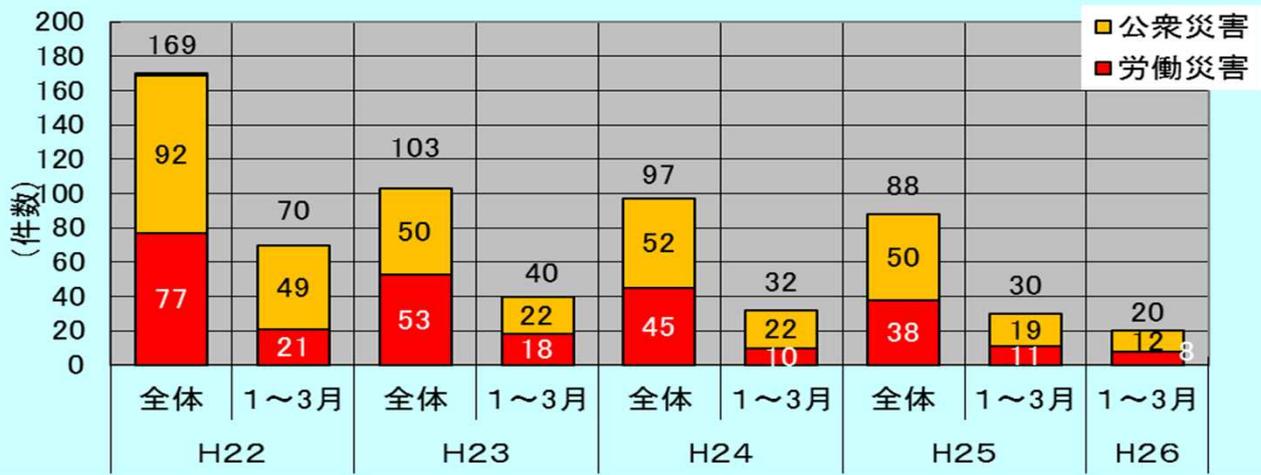
◆平成26年事故の状況◆

☆平成26年1月～3月の事故は20件(昨年30件)発生し、そのうち死亡事故が2件発生しています。また内訳は公衆災害が12件、労働災害8件となっています。

1. 工事事故速報の件数

平成26年の1月～3月の事故件数は20件と近年の同期では最小となっています。昨年は、年間事故件数88件と過去5年で最小でした。平成26年についても、昨年以上に事故数の減少にむけて、安全対策を徹底しましょう。

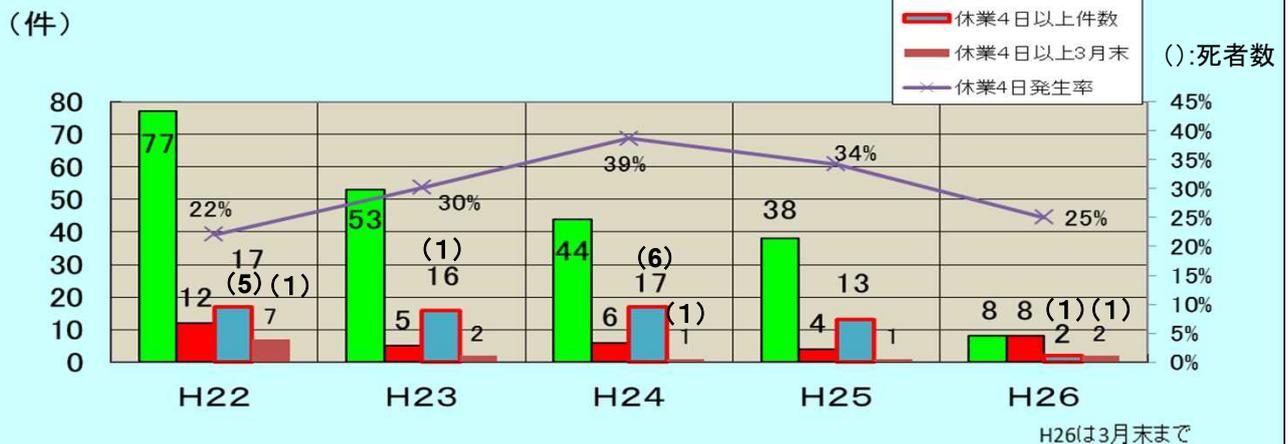
災害区分別事故発生状況の推移(H22-H26) H26.3.31現在



2. 労働災害の状況

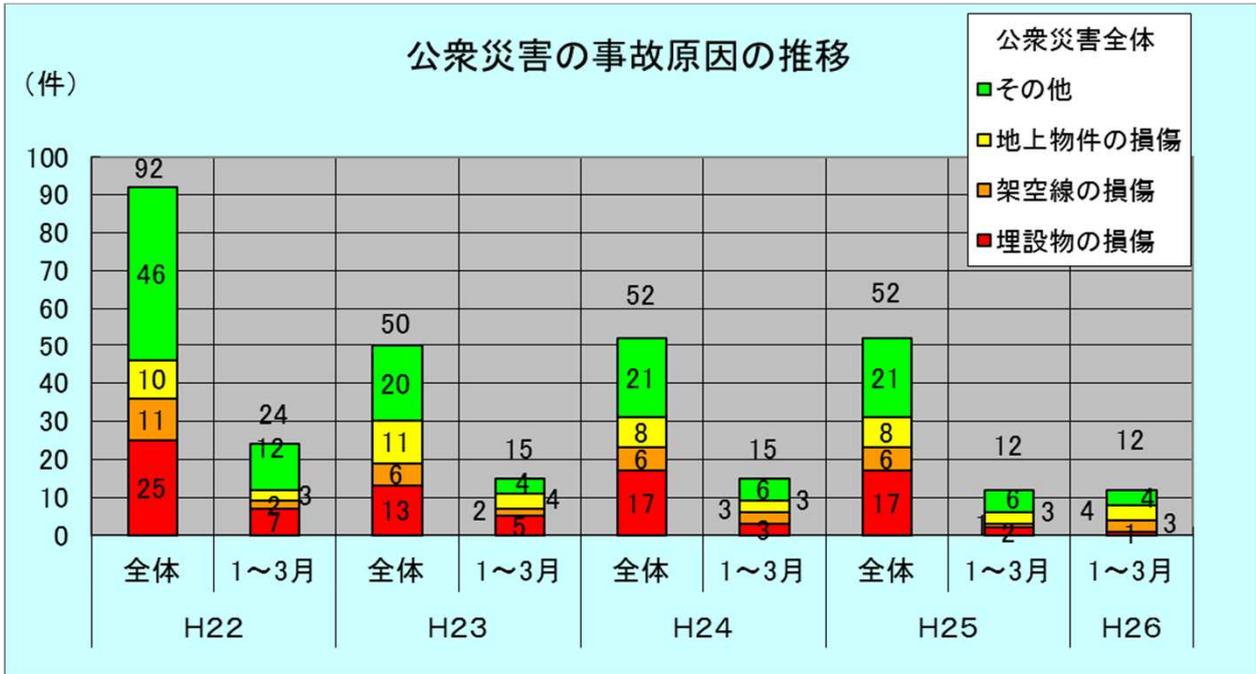
H26年の休業4日以上の事故が、既に2件発生しており、うち1件は**墜落による死亡事故**でした。今後は、安全対策を徹底し、重大災害の発生を防止しましょう。

H22-H26の労働災害の推移(休業4日以上)



3. 公衆災害の状況

平成26年の公衆災害は、12件発生しています。その他4件のなかに、**死亡事故1件（現場内において、トラックが後退中に一般の方と接触）**が含まれています。



4. 事故事例

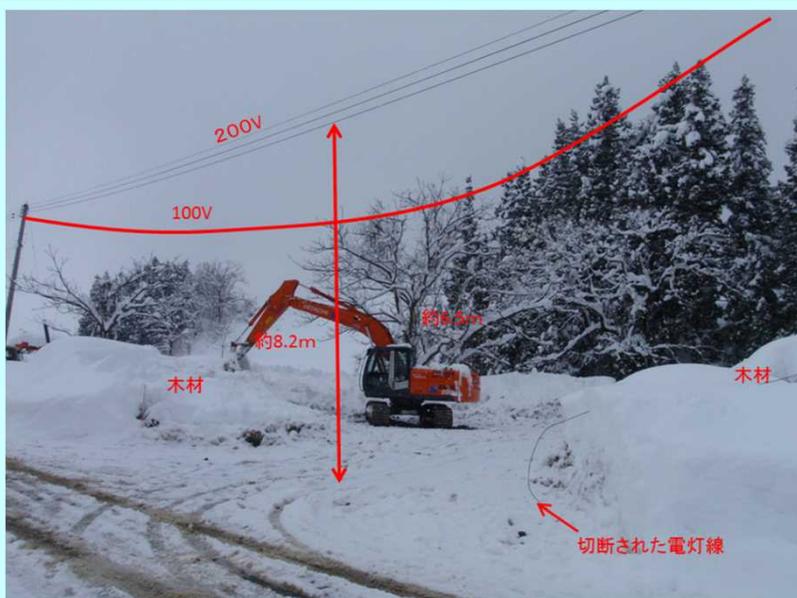
- **工事概要**：舗装工事
- **事故概要**：歩道内で防護柵基礎を施工中、交通誘導員の誘導により、小型バックホウが後退した際に交通誘導員の右足を轢いた。
- **事故原因**：◆バックホウ方向転換の際、旋回し前進し移動すべきところを後退で移動した。
◆後退時に後方の安全を十分確認しないまま移動を開始した。
- **防止対策**：◆バックホウ誘導員を選任し誘導手順を作業指示書に明記する。
◆バックホウの移動は前進移動を基本とし、選任したバックホウ誘導員の誘導のもと移動する。



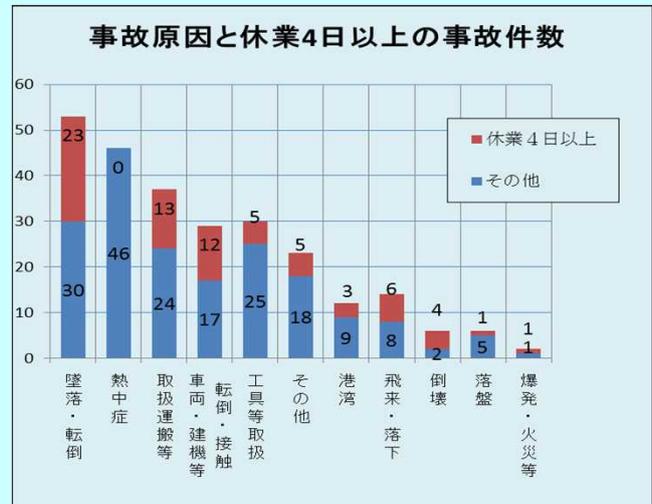
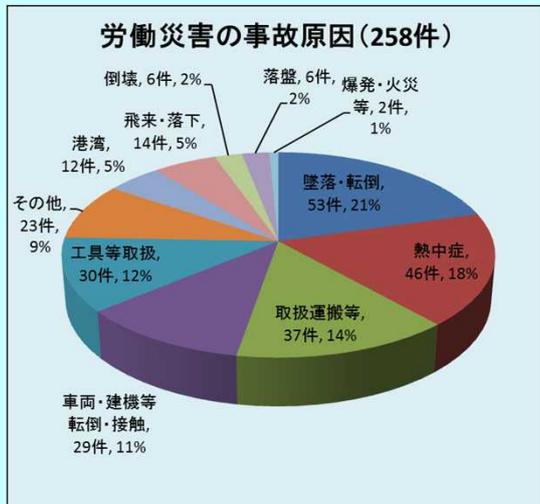
- **工事概要**：道路照明取替工事
- **事故概要**：高所作業車（14.6mブーム）作業が終了し、次の作業場所に移動中に歩道から車道に出る際、バケットと歩行者用信号機が接触し、歩行者用信号を損傷させた。
- **事故原因**：◆高所作業車が移動する際、後退は誘導員が指示していたが、前進指示はしていなかった。
◆これまで狭い場所は十分注意し作業を行っていたが、今回は比較的広い場所だった為に運転手は油断していた。
- **防止対策**：◆高所作業車が現場内を移動する際は、誘導員の指示による移動を徹底する。
◆運転手に対して、作業前日に次の施工場所の確認を行う。



- **工事概要**：流路工改築工事
- **事故概要**：バックホウで除雪作業中、木材があったためバケットが当たらないように旋回したところ、高さ6.5mにあった架空線にブームが当たり切断した。
- **事故原因**：◆架空線を明示していなかった。
◆木材（H=1.5m）に気をとられ架空線に注意が行かなかった。
- **防止対策**：◆単管パイプで高さ制限ゲートを設置した。
◆注意喚起ののぼり旗を増やした。

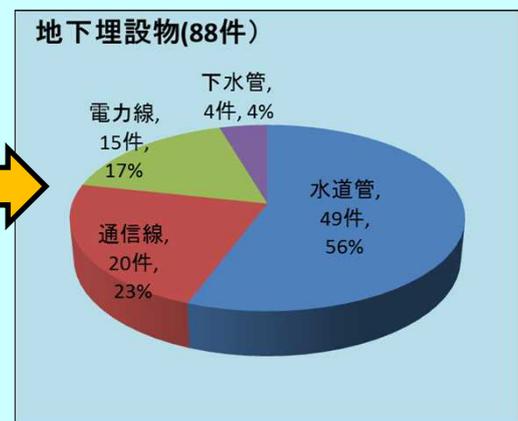
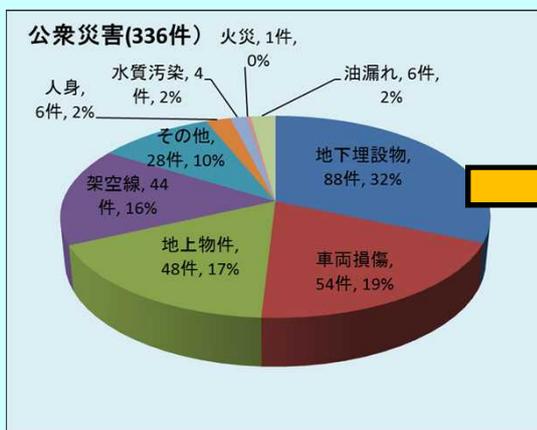


過去5年間(平成21年～25年)の労働災害の事故原因



過去5年の労働災害における、事故原因をみると、「墜落・転倒」・「熱中症」・「取扱運搬等」で全体の5割を占める状況です。
 また、休業4日以上(およびその他)の重大な事故の原因をみると、「墜落・転倒」・「取扱運搬」・「車両・建機等転倒・接触」・「倒壊」の占める割合が高い状況です。

過去5年間(平成21年～25年)の公衆災害の内訳



公衆災害の損傷物件をみると地下埋設物が32%、車両損傷が19%と2項目で、全体の5割以上を占めています。
 また、地下埋設物の内訳は、水道管の損傷が56%を占めており、沿道での工事を行う際には、十分に埋設位置を確認して施工する必要があります。

※「建設事故データベース」SASへの登録を忘れずにお願いします。
 問い合わせ先: 本局企画部技術管理課検査係 (025-280-8880)